

=====

\*\* 日本学術会議ニュース・メール \*\* No.876 \*\* 2024/3/29

=====

1. 【開催案内】 公開シンポジウム

「公務員制度の変容：資源制約時代における応答要求への対応」

2. 【公募情報】 生研支援センター（BRAIN）

－「スタートアップ総合支援プログラム(SBIR 支援)」の令和6年度公募を開始しました－

3. 【第1回～第8回のセミナー動画公開】

RISTEX 総合知オンラインセミナー「学際研究/共創型研究のすすめ」

-----

■

【開催案内】 公開シンポジウム

「公務員制度の変容：資源制約時代における応答要求への対応」

-----

■

【主催】 日本学術会議政治学委員会人口減少下の行政・地方自治分科会

【共催】 日本行政学会、学習院大学大学院政治学研究科

【日時】 2024年5月18日（土）9：30～11：30

【場所】 学習院大学西2号館201教室（東京都豊島区目白1-5-1）

【参加費】 無料

【定員】 50人

【事前申込み】 要

下記 URL のフォームに必要事項を記入のうえお申込みください。

（締切：2024年5月11日（土）） <https://x.gd/irNAt>

【開催趣旨】

人口減少・超高齢社会を迎える中で、我が国の公務員制度、とりわけ国家公務員制度は、深刻な課題に直面している。我が国では、厳格な定員管理によって公務員数の増加を抑制する取り組みが続けられてきた結果、他の先進諸国と比べても格段に「小さな政府」を実現しているが、近年では、公務員の勤務環境の過酷さが指摘され、志願者数の減少や勤続意欲の低下を招いている。他方、2000年代以降の国家公務員制度改革によって、公務員人事に対する官邸の主導性が強まり、各府省の行政官が政策形成に関する主体性を喪失しているのではないかと指摘されている。人材や財源といった行政資源の利用可能性が低下していく資源制約時代において、国民が求める質の高い行政サービスを提供できる体制を維持すること、すなわち、公務員制度の応答性を確保することができるのかが問われている。

本シンポジウムでは、資源制約が強まっているにもかかわらず応答性をさらに高めよという民主制からの要求に対し、公務員制度がどのように対応しようとしているのかを、

国際比較に基づいて考察したい。

【プログラム】 <https://www.scj.go.jp/ja/event/2024/363-s-0518.html>

【問い合わせ先】 日本行政学会事務局 ([jspajp2022@gmail.com](mailto:jspajp2022@gmail.com))

-----  
■  
【公募情報】 生研支援センター (BRAIN)

ー 「スタートアップ総合支援プログラム(SBIR 支援)」の令和6年度公募を開始しましたー

-----  
■  
生研支援センターでは、本日から「スタートアップ総合支援プログラム(SBIR 支援)」の令和6年度公募を開始しました。

本プログラムは、農林水産・食品分野で、新たなビジネス創出に向けて、研究開発型スタートアップ等が取り組む革新的な研究開発及びその成果の事業化を支援します。

公募期間：2024年3月27日(水)～4月24日(水) 正午まで

公募説明会：2024年4月4日(木) オンライン (Teams) で開催

▼詳細はこちら (生研支援センターウェブサイト)

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/startup/offering/koubo/R06.html>

【お問い合わせ先】

生物系特定産業技術研究支援センター (BRAIN)

事業推進部 スタートアップ支援課 (担当：安達)

E-mail : [brain-stupweb@ml.affrc.go.jp](mailto:brain-stupweb@ml.affrc.go.jp)

-----  
■  
【第1回～第8回のセミナー動画公開】

RISTEX 総合知オンラインセミナー「学際研究/共創型研究のすすめ」

-----  
■  
社会の具体的問題の解決や科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題 ELSI への対応に資する社会技術の研究開発を推進している JST-RISTEX (社会技術研究開発センター) は、学際研究/共創型研究を進めるうえでヒントとなる情報を発信・共有するための総合知オンラインセミナーを開催してまいりました。

この度、セミナーシリーズへのご反響や、多くの方からのご要望を受けまして、第1回から第8回までのセミナー動画を Web 公開いたしました。

学際研究/共創型研究にご関心のある方は、是非ご視聴いただけますと幸いです。

RISTEX 総合知オンラインセミナー「学際研究/共創型研究のすすめ」

第1回 「法学」の研究者/実務者を巻き込むには？

第2回 人文・社会科学系の産学連携は何をやっているのか

—ELSI 共創のポテンシャル

第3回 なぜ、「共創」はうまくいかないのか？

「食」分野エコシステム構築の実践から

第4回 新興科学技術の研究開発・実装における研究者自治とリーガルデザイン

第5回 人文学（者）は何をしたいのか？ オープンヒューマニティーズという試み

第6回 異分野融合において「哲学者」が果たしうる役割

：数学・認知科学・神経科学・ロボティクスとの共同研究の実践から

第7回 人文・社会科学は社会の役に立つ?!文化人類学・心理学・哲学の挑戦

第8回 アカデミアにおける「共創」のリアル

：学際研究/共創の場構築を目指す様々な実践から

●詳細は、こちらをご覧ください。

[https://www.jst.go.jp/ristex/info/topics/20240327\\_01.html](https://www.jst.go.jp/ristex/info/topics/20240327_01.html)

<本件のお問い合わせ先>

国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)

社会技術研究開発センター (RISTEX)

総合知オンラインセミナー事務局

E-mail : [r-info-event@jst.go.jp](mailto:r-info-event@jst.go.jp)

\*\*\*\*\*

日本学術会議 YouTube チャンネル

[https://www.youtube.com/channel/UCV49\\_ycWmnhfNV2jgePY4Cw](https://www.youtube.com/channel/UCV49_ycWmnhfNV2jgePY4Cw)

日本学術会議公式 Twitter

[https://twitter.com/scj\\_info](https://twitter.com/scj_info)

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://jssf86.org/works1.html>

\*\*\*\*\*

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のメールニュースは、日本学術会議ホームページに掲載しております。

<https://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

**【本メールに関するお問い合わせ】**

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

=====

発行：日本学術会議事務局 <https://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34